

平成22年度 長浜バイオ大学における動物実験実施報告

長浜バイオ大学
学長 三輪 正直

長浜バイオ大学では、科学的観点と動物愛護の観点から「長浜バイオ大学実験附属施設規程」を定め、動物実験の適正な実施及び実験動物の適正な飼養・保管を行っています。また、実験附属施設運営専門委員会では、動物実験責任者から提出される実験計画書から実施報告書までを審査し、適正に動物実験が実施されるよう審議・調査ならびに助言を行っています。

平成 22 年度長浜バイオ大学において行われた動物実験について、長浜バイオ大学実験附属施設規程第 31 条(情報公開)に基づき、下記の通り報告します。

1. 動物実験数

計画申請審査後、認可を受けた 8 件の実験が実施された。

2. 実験動物数

マウス 364 匹、ラット 10 匹。

3. 飼養保管施設・実験室

飼養及び実験は、主に、十分なクリーン度・環境が維持され、逃亡防止策を講じられた実験附属施設内で実施された。

4. 実験報告書及び自己点検評価

実験実施後、8 件全ての実験について報告書・自己点検書が提出された。提出された報告書・自己点検書は長浜バイオ大学・実験附属施設運営専門委員会では審議・評価し、適正に実験が行われたことを確認後、学長に報告されすべて承認された。

自己点検項目

1. 動物搬入時に事前に搬入願いで申請されたか。
2. 申請計画通り動物実験が行われたか。
3. 申請計画通りの使用動物数であったか。
4. 必要最低限の動物数であったか。
5. 飼育した場所は適切であったか。
6. 適切に動物を飼育したか。
7. 飼育環境を清潔に保てたか。
8. 苦痛軽減の措置は適切であったか。
9. 安楽死法は適切であったか。
10. 動物の死体は適切に保管・廃棄したか。
11. 動物慰霊祭に参加したか。
12. 教育訓練受講日。

5. 慰霊祭

平成 22 年度長浜バイオ大学実験動物慰霊祭が、平成 23 年 2 月 14 日(月)本学命北館大講義室 2 にて、169 名の参加者のもと行われた。本慰霊祭は、本学の研究・実習に貢献した実験動物を供養し、また実験動物に対する感謝の気持ちを忘れないように、毎年行っているものである。学長の挨拶に続き、実験附属施設委員長より平成 22 年度の実験報告が行われた。学部長の動物愛護や「3つのR」についての講話の後、参加者全員で 1 分間黙祷し、研究のため尊い犠牲となった動物たちに感謝の念を捧げるとともに、冥福を祈った。

6. 教育訓練

平成 22 年度は、以下の 2 回教育訓練を実施した。

第 1 回:平成 22 年 11 月 15 日、参加者 8 名。

第 2 回:平成 23 年 2 月 14 日、慰霊祭後、参加者 169 名。